

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年7月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スーパーツール  
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月29日

(氏名) 吉川 明  
 (氏名) 平野 量夫

TEL 072-236-5521

配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年3月16日～平成26年6月15日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,979	11.9	203	10.0	179	10.4	109	13.1
26年3月期第1四半期	2,247	64.2	226	57.7	200	90.2	126	140.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 120百万円 (171.8%) 26年3月期第1四半期 44百万円 (37.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.55	
26年3月期第1四半期	15.98	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	10,847	7,042	64.9
26年3月期	11,133	7,031	63.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 7,042百万円 26年3月期 7,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		7.50		10.50	18.00
27年3月期					
27年3月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月16日～平成27年3月15日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	10.4	440	1.3	390	0.9	220	7.4	21.16
通期	8,100	10.4	920	6.2	830	9.5	500	10.4	48.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	10,405,480 株	26年3月期	10,405,480 株
期末自己株式数	27年3月期1Q	7,652 株	26年3月期	7,214 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	10,398,047 株	26年3月期1Q	7,898,466 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中であります。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替の安定的な推移を背景に、輸出産業を中心とした企業の業績改善など景気回復傾向が続きました。また、輸入原材料の高騰や消費税増税に伴う個人消費の振幅が見られましたものの、おおむね底堅く推移しました。一方、米国経済は順調に推移しましたが、新興国の成長鈍化への懸念や相継ぐ政情不安により先行きの不透明感が続きました。

このような状況の中、当社グループは、金属製品事業につきましては、土木、建設関連事業の活発化や自動車、航空機関連産業の設備投資の増加に伴って、品質と競争力を備えた製品の安定的な供給に注力してまいりますとともに、設備集約化などの付加価値生産性の向上に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、電力需給の逼迫予測を背景とした発電設備着工の本格化に伴い、設置環境に最適なシステムの提案を行ってまいりました。また、太陽光発電設備関連商品の取扱いを開始し、需要層の開拓を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,979百万円(前年同四半期比268百万円減、11.9%減)、営業利益は203百万円(前年同四半期比22百万円減、10.0%減)、経常利益は179百万円(前年同四半期比20百万円減、10.4%減)、四半期純利益は109百万円(前年同四半期比16百万円減、13.1%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次の通りであります。

なお、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

#### (金属製品事業)

作業工具は、国内販売ではインフラ整備事業の進展と設備投資の増加に伴う関連製品の売上が順調に推移し、また、空調設備関連製品が売上を伸ばしました。また、海外市場では主要消費地であるアジア諸国で景気減速感が強まりましたが、新興市場の開拓により、売上は前年同期を上回りました。産業用機器では、土木・建設関連需要と設備投資の増加に伴い、吊クランプ、治具の売上が順調に推移いたしました。これらの傾向は当面継続することが想定されることから、当社グループもこの市場の動きを的確に捉え、売上伸長に結びつけてまいります。これらの結果、当セグメントの売上高は1,275百万円(前年同四半期比129百万円増、11.3%増)、セグメント利益は278百万円(前年同四半期比40百万円増、17.0%増)となりました。

#### (環境関連事業)

太陽光発電市場は、依然として太陽光発電の再生可能エネルギー固定買取価格制度の権利取得物件が数多く存在するため、引続き同市場における需要は旺盛と見込まれますが、市場の活況な動きは太陽光モジュールの販売等を行う川上から、太陽光発電設備の設置工事等を行う川下に移行している状況です。当社グループとしましても、この市場の動きに対応できるよう体制の整備を行ってまいります。当第1四半期連結累計期間より、当社発電所による電力会社への電力販売を本格的に開始し、中小規模の設備認定案件においては、着工にむけての必要なサポート体制を強化し、低圧連系商品などのシステム提案を継続してまいりました。また、電材関連など新規商材について新たな需要を開拓してまいりましたが、輸入資材等の価格は上昇基調で推移いたしました。これらの結果、当セグメントの売上高は703百万円(前年同四半期比398百万円減、36.1%減)、セグメント利益は12百万円(前年同四半期比62百万円減、83.0%減)となりました。

#### (その他)

兵庫県神戸市における不動産賃貸業であり、当該賃貸物件は平成25年12月27日にすべて売却いたしました。これにより、当該事業がなくなったため、セグメント情報等より削除しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ286百万円(2.6%)減少し、10,847百万円となりました。

主な増減は、受取手形及び売掛金の減少564百万円、前渡金の減少63百万円、商品及び製品の増加310百万円、投資有価証券の増加27百万円、原材料及び貯蔵品の増加23百万円等であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ297百万円(7.2%)減少し、3,805百万円となりました。

主な増減は、短期借入金の減少260百万円、長期借入金の減少115百万円、未払法人税等の減少67百万円、賞与引当金の減少35百万円、未払金の増加107百万円、支払手形及び買掛金の増加37百万円等であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11百万円(0.2%)増加し、7,042百万円となりました。

主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加20百万円、繰延ヘッジ損益の減少10百万円、四半期純利益の計上による増加109百万円、配当金の支払いによる減少109百万円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年4月23日付「平成26年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,234,289	1,259,325
受取手形及び売掛金	1,565,069	1,000,860
商品及び製品	1,451,873	1,762,335
未着商品	29,658	36,634
仕掛品	557,421	565,343
原材料及び貯蔵品	202,134	225,162
前渡金	267,497	203,847
未収還付法人税等	104,537	104,537
繰延税金資産	181,444	124,409
その他	39,216	50,333
貸倒引当金	△4,880	△4,818
流動資産合計	5,628,263	5,327,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	297,440	291,820
機械装置及び運搬具(純額)	731,489	716,161
土地	4,088,246	4,088,246
その他(純額)	44,241	53,030
有形固定資産合計	5,161,418	5,149,258
無形固定資産	10,672	10,612
投資その他の資産		
投資有価証券	290,401	318,293
繰延税金資産	5,868	5,762
その他	48,529	47,083
貸倒引当金	△11,182	△11,182
投資その他の資産合計	333,616	359,957
固定資産合計	5,505,707	5,519,827
資産合計	11,133,971	10,847,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	333,193	370,722
短期借入金	560,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	495,966	485,059
未払金	202,862	309,964
未払法人税等	90,136	22,596
賞与引当金	48,100	12,500
その他	32,078	74,466
流動負債合計	1,762,337	1,575,309

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月15日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	869,854	754,314
再評価に係る繰延税金負債	1,190,288	1,190,288
繰延税金負債	106,298	108,588
退職給付引当金	120,535	123,580
その他	53,651	53,651
固定負債合計	2,340,627	2,230,422
負債合計	4,102,964	3,805,731
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,898,643	1,898,643
資本剰余金	836,249	836,249
利益剰余金	2,119,804	2,120,285
自己株式	△1,660	△1,841
株主資本合計	4,853,036	4,853,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,509	58,387
繰延ヘッジ損益	△8,983	△19,100
土地再評価差額金	2,149,444	2,149,444
その他の包括利益累計額合計	2,177,970	2,188,731
純資産合計	7,031,006	7,042,068
負債純資産合計	11,133,971	10,847,799

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月16日 至平成25年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月16日 至平成26年6月15日)
売上高	2,247,949	1,979,555
売上原価	1,730,922	1,478,843
売上総利益	517,027	500,712
販売費及び一般管理費	290,907	297,313
営業利益	226,119	203,398
営業外収益		
受取利息	466	13
受取配当金	2,108	1,364
為替差益	-	605
保険解約返戻金	-	3,200
その他	478	2,411
営業外収益合計	3,053	7,595
営業外費用		
支払利息	5,661	4,259
売上割引	20,960	24,525
為替差損	543	-
その他	1,315	2,318
営業外費用合計	28,480	31,103
経常利益	200,693	179,890
特別利益		
固定資産売却益	126	-
特別利益合計	126	-
特別損失		
固定資産除売却損	22	58
特別損失合計	22	58
税金等調整前四半期純利益	200,797	179,831
法人税、住民税及び事業税	62,437	15,725
法人税等調整額	12,164	54,443
法人税等合計	74,601	70,168
少数株主損益調整前四半期純利益	126,196	109,662
四半期純利益	126,196	109,662

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月16日 至平成25年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月16日 至平成26年6月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	126,196	109,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,312	20,878
繰延ヘッジ損益	△66,580	△10,117
その他の包括利益合計	△81,893	10,761
四半期包括利益	44,303	120,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,303	120,423
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月16日 至平成25年6月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	金属製品 事業	環境関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,145,904	1,099,164	2,245,069	2,880	2,247,949	—	2,247,949
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2,619	2,619	—	2,619	△2,619	—
計	1,145,904	1,101,784	2,247,689	2,880	2,250,569	△2,619	2,247,949
セグメント利益	238,148	75,440	313,589	1,071	314,660	△88,540	226,119

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△88,540千円には、セグメント間取引消去579千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△89,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月16日 至 平成26年6月15日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,275,886	703,669	1,979,555	—	1,979,555
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,275,886	703,669	1,979,555	—	1,979,555
セグメント利益	278,659	12,804	291,463	△88,065	203,398

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,065千円には、セグメント間取引消去1,056千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△89,122千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前連結会計年度の「その他」は、兵庫県神戸市における不動産賃貸業であり、当該賃貸物件は平成25年12月27日にすべて売却いたしました。

これにより、当該事業がなくなったため、上表より削除しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。